

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(2/11)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
レアメタル等リサイクル資源特区 (秋田県)	正	B 4.2	B 4.2 <u>進捗度</u> ・特区に搬入されたリサイクル対象となる家電等金属系使用済製品の回収量(秋田県内) 65% ・特区に搬入されたリサイクル対象となる家電等金属系使用済製品の回収量(全国) 359%	B 3.7 <u>規制の特例等</u> ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の送付期限緩和 <u>財政支援等</u> ・使用済小型家電プラスチックの高度選別による新型雨水貯留槽の製品化事業 等 <u>地域独自の取組</u> ・環境調和型産業集積支援事業(施設整備、研究開発、販売促進等への助成) 等	+0.25	<p>・使用済小型家電回収の全国展開に寄与しており、<u>県内外の環境・リサイクル産業に資する取組みが行われている</u>。また、<u>妥当な分析の上、適切に評価が行われている</u>。</p> <p>・他方、<u>今後の目標達成への戦略が明確になっていない部分(※)も見受けられ、それが課題と思われる</u>。</p> <p>※:使用済小型家電の主な回収者である市町村の参加が進んでおらず、26年3月末現在、県内25市町村のうち10市町村に留まっている。また、県内のリサイクル事業者の主な回収エリアが北東北3県であることが、東日本の受け皿になるとの目標達成に向けた課題であるとされている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。